

# ICTを活用したオンライン学習の取組

北海道旭川東高等学校

(取組のポイント)

令和の日本型学校教育で目指す学びの姿である「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」を実現するためのICTの活用と授業改善を目指した取組

## 取組に当たっての課題意識

- オンライン学習実施に必要な知識や技術の習得
- BYODを活用した授業で効果が期待できる指導場面の確立

| 具体の取組例  | 事業との関連等  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内組織の設置                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT活用検討委員会<br/>【組織体制】教頭、情報担当者、各学年担当者、教務部担当者</li> <li>・ ICT活用検討拡大委員会<br/>【組織体制】ICT活用検討委員会、総務・教務・進路指導部長</li> </ul> </li> <li>○ オンライン学習に関する校内研修の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修終了後からオンライン学習が実施するために必要なClassi、YouTubeの操作技術とタブレット録画機能の操作技術を習得。                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ YouTubeへの動画のアップロード、ライブ配信に向けた準備</li> <li>・ Classiで配信するグループを作る方法</li> <li>・ YouTubeを利用したライブ配信方法</li> <li>・ タブレットを用いた録画、配信方法</li> <li>・ 録画した動画の設定を変更する方法</li> </ul> </li> <li>・ オンライン学習実施1ヶ月後に、アンケートの実施（教員及び生徒）</li> <li>・ オンラインによる、よりよい授業環境の整備に向けた課題の抽出</li> </ul> </li> <li>○ ICTを活用した授業づくりに向けた研究授業の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員がICTを活用する場面と、生徒がICTを活用する場面を設定し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を意識した授業づくりと研究授業によるブラッシュアップ</li> </ul> </li> <li>○ BYODに関する校内研修会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次年度に向けた概要説明と共通理解</li> <li>・ Googleアカウントの交付（1・2学年）</li> <li>・ 授業における、Google Workspace for educationのアプリケーションの活用</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICTを活用したオンライン学習の取組</li> <li>・ ICT教育推進課による助言と情報提供</li> </ul> |



## 取組の成果

- すべての教員が、YouTubeを活用したオンライン学習ができるようになった。
- BYODを前提とした、ICTを活用した授業づくりを意識的に行うことができた。

課題解決に向けたプロセス